

令和6年12月13日

波佐見町長 前川 芳徳 様

波佐見町議会
議長 尾上 和孝



波佐見町営住宅の方向性策定に関する要望書

波佐見町の町営住宅は314戸を有しますが、約半数が耐用年数を超過する状態にあり、全体的に老朽化も進行しています。加えて、町の人口減少に伴い住宅需要が減少する中、現行の町営住宅政策の見直しが急務となっています。

また、国の公営住宅政策における脱炭素化対応や建設費高騰の影響を受け、町としての方向性が未だ明確ではないことから、住民から不安の声が多く寄せられています。

町議会としては、住民の生活の安心と持続可能な町営住宅運営を両立するため、町としての具体的な方向性を令和7年度中に明示していただくよう強く要望いたします。

【要望事項】

1. 町営住宅全体の方向性策定

以下を含む町営住宅の中長期的な方向性を、令和7年度中に明示すること。

- ・老朽化住宅の修繕・建て替えの計画。
- ・町全体の人口動向を考慮した住宅供給の適正規模。
- ・脱炭素化や費用対効果を考慮した住宅政策の具体案。

2. 老朽化住宅への緊急対応

耐用年数を大幅に超過している住宅について、住民の安全を最優先に入居者の意向を踏まえ、修繕や仮住まいの確保などの具体的対策を早急に実施すること。

3. 住民との対話の強化

町営住宅の現状や今後の対応について、住民とのコミュニケーションを強化し、定期的な説明会や意見交換の場を設けること。

4. 国・県支援の最大活用

国や県の補助金、脱炭素化政策を活用し、財政負担の軽減を図ること。

5. 進捗状況の共有

方向性策定に向けた検討過程や進捗状況について、町議会および住民に対して定期的に報告すること。

以上